

2025年度  
慶應義塾大学入学試験問題  
商 学 部  
日 本 史

- 注 意
1. 受験番号と氏名は、解答用紙 A（マークシート）と解答用紙 B のそれぞれ所定の欄に必ず記入すること。さらに、解答用紙 A（マークシート）の受験番号欄をマークすること。
  2. 解答は、必ず指定された解答用紙の所定の欄に記入ないしマークすること。解答欄外の余白および採点欄には一切記入してはならない。
  3. 解答用紙 A（マークシート）への記入に先立って、用紙上に記載された注意事項を必ず読むこと。
  4. 解答用紙 A（マークシート）の解答欄にマークするときには、すべて HB の黒鉛筆を使用し、また、次の解答例に従うこと。  
(解答例) 

(12)
------

 と表示のある問いに対して、3 と解答する場合は、右に示すように解答欄 

(12)
------

 の③にマークすること。  
なお、2桁の数字の場合には、以下のようにマークすること。  
例えば、空欄 

(19)
------

(20)
------

 の解答が 3 6 の場合、解答欄 

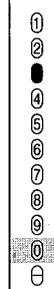
(19)
------

 の③にマークし、解答欄 

(20)
------

 の⑥にマークする。
  5. 問題用紙は下書きに用いてよろしい。
  6. この冊子の総ページ数は 8 ページである。

(12)



試験開始の合図とともに全てのページが揃っているか確認してください。ページが抜けていたり重複するページがあったら直ちに監督者に申し出てください。

《指示があるまで開かないこと》

## I. 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

東アジアとの関係は日本社会に重要な影響を与えており、古くは、中国の歴史書などからうかがい知ることができる。『後漢書』東夷伝には、紀元57年に倭の奴国の王の使者が洛陽におもむいて印綬を受け、107年にも倭国王の帥升らが生口を〔(1)〕〔(2)〕に献じたことが記されている。その後、中国の周辺諸民族に対する支配力が弱まると、<sup>(ア)</sup>朝鮮半島では高句麗が南に勢力を広げ、倭国も4世紀末から5世紀初頭にかけて交戦している。朝鮮半島の混乱を背景に、5世紀には半島南部の人々が渡来人として日本列島に到来し、多様な技術や文化を伝えた。なかでも、『論語』を伝えたと言われる王仁を祖とする〔(3)〕〔(4)〕氏などは、渡来人を統率する役割を担った。

中国で隋が南北朝を統一すると、東アジアの国際情勢は大きく変化した。倭国では、推古天皇のもと、603年の〔(5)〕〔(6)〕の制定など、国家組織の形成が進むとともに、遣隋使派遣により中国との国交も再開され、隋からも答礼使として、〔(7)〕〔(8)〕が来日した。その後、唐が周辺地域への進出を強力に推し進めると、周辺諸国は中央集権の確立と国内統一の必要性にせまられた。〔(9)〕〔(10)〕天皇や中大兄皇子らが中心となり進められた大化の改新では、天皇中心の中央集権が目指され、その後、大海人皇子が〔(11)〕〔(12)〕宮で即位すると、豪族の私有民である( a )を廃止し、官人の位階などを定めて官僚制の形成が進んだ。また、豪族層を新たな身分秩序に編成するため八色の姓が定められたが、最上位の序列である〔(13)〕〔(14)〕は天皇家から分かれた氏族に限られた。690年には、〔(15)〕〔(16)〕が作成され、以後6年ごとに戸籍をつくる制度が確立するとともに、757年には、〔(17)〕〔(18)〕によって養老律令が施行された。

唐の領域拡大は周辺諸地域に大きな影響を与えるとともに、漢字、儒教、仏教などを共有する東アジア文化圏を形成した。〔(19)〕〔(20)〕天皇のもと、630年に、( b )を責任者とする最初の遣唐使派遣が始まると、その後、右大臣にまで出世することになる〔(21)〕〔(22)〕などの留学生らが日本に多くの知識を伝え、律令国家の発展に大きく寄与した。しかし、唐が衰退し、国際情勢が不安定になるなか、危険と費用をともなう遣唐使派遣の意義が薄れ、894年には、〔(23)〕〔(24)〕天皇に重用された菅原道真の建議により、その派遣は中止された。唐の滅亡後、中国は宋によって再統一されたが、朝貢関係を避けるために、日本は宋とのあいだに正式な国交を開かなかつた。一方、宋の商人を通じて活発な貿易が行われるとともに、東大寺の( c )のように、商人の船を利用して大陸に渡り、宋の文物を日本にもたらす僧もいた。その後、<sup>(イ)</sup>蒙古襲来による中断はあったが、足利尊氏らが、九州の商人に請け負わせて貿易船を元に派遣し、その利益を〔(25)〕〔(26)〕寺の造営費に充てるなど、交流は続いていた。

14世紀後半以降、東アジア世界の情勢は大きく変化した。中国では、〔(27)〕〔(28)〕が元を北方に追いやって明を建国した。明は、中国を中心とする国際秩序の回復を目指して近隣諸国に通交を求めたため、室町幕府はこれに応じ国交を開き、勘合貿易が始まった。なお、〔(29)〕〔(30)〕が朝貢形式をきらったこともあって勘合貿易は一時中断されたが、その後、再開された。15世紀後半になると、貿易の実権は細川氏や大内氏の手に移り、1523年の〔(31)〕〔(32)〕の乱の後は大内氏が貿易を独占した。17世紀になると、徳川家康が明との国交回復を模索したが、その後、江戸幕府はこれを断念し、中国船との私貿易が行われることになった。17世紀前半に清が成立すると、日清間の貿易額は年々増加する一方、輸入増加による銀などの流出をおさえるため、江戸幕府は、清船の来航を制限するとともに、1689年には清国人の居住地を限定すべく( d )を設けた。

明治時代に入ると、日本は清と (33) (34) を結び、国交を成立させる一方で、琉球や朝鮮などをめぐり緊張関係が生まれた。琉球は、江戸時代以来、薩摩藩に事実上支配されながら清にも朝貢するという両属関係にあったが、政府は琉球国王の ( e ) を藩主とする琉球藩を設置し、日本に帰属させることにした。清はこれを認めなかったため、政府は台湾出兵を行い、琉球人が日本人であるとして賠償金を得て決着させた。その後、琉球藩を廃止し沖縄県を設置したが、清はこの処分を認めず、琉球の日本への帰属が確定したのは日清戦争後のことであった。他方、1875年の (35) (36) をきっかけに朝鮮が開国すると、朝鮮国内では親日派勢力が台頭したが、1884年の (37) (38) などを経て、朝鮮における日本の影響力は低下し、清の影響力が強化された。この時期、清・朝鮮に対する日本の世論は急速に悪化するなか、福沢諭吉は『 (39) (40) 』において「脱亜論」を発表し、アジアを脱して西洋諸国と行動を共にするべきであるとの主張を行っている。しだいに、清との軍事的対立の機運が高まるなか、1894年に日清戦争がはじまった。

問1 文中の空欄 (1) (2) ～ (39) (40) に当てはまる最も適切な語句を下記の語群より選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。

《語群》

- |           |           |           |           |          |
|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|
| 11 足利義量   | 12 足利義教   | 13 足利義持   | 14 飛鳥浄御原  | 15 朝臣    |
| 16 安帝     | 17 宇多     | 18 永楽帝    | 19 近江大津   | 20 西文    |
| 21 冠位十二階  | 22 鑑真     | 23 吉備真備   | 24 享徳     | 25 建長    |
| 26 憲法十七条  | 27 庚寅年籍   | 28 江華島事件  | 29 皇極     | 30 庚午年籍  |
| 31 甲午農民戦争 | 32 甲申事変   | 33 光孝     | 34 孝徳     | 35 光武帝   |
| 36 斉明     | 37 三別抄    | 38 三浦     | 39 氏姓制度   | 40 時事新報  |
| 41 朱元璋    | 42 舒明     | 43 壬午軍乱   | 44 壬申戸籍   | 45 宿禰    |
| 46 西洋事情   | 47 蘇因高    | 48 大覚     | 49 醍醐     | 50 高向玄理  |
| 51 橘諸兄    | 52 天津条約   | 53 天智     | 54 天龍     | 55 東学の乱  |
| 56 東福     | 57 難波長柄豊碕 | 58 日華平和条約 | 59 日清修好条規 | 60 寧波    |
| 61 裴世清    | 62 秦      | 63 藤原     | 64 藤原仲麻呂  | 65 藤原不比等 |
| 66 武帝     | 67 文明論之概略 | 68 真人     | 69 南淵請安   | 70 旻     |
| 71 村上     | 72 東漢     | 73 万朝報    | 74 李成桂    | 75 和気清麻呂 |

問2 文中の空欄 ( a ) ～ ( e ) に入る最も適切な語句を解答用紙 B の所定の解答欄に漢字で書きなさい。

問3 以下の設問の解答を解答用紙 B の所定の解答欄に漢字で書きなさい。

- (1) 下線部 (ア) について、当時、倭国と同盟関係にあった百済の王から倭国の王に贈られた、石上神宮に伝わる刀剣は何か。その名称を書きなさい。
- (2) 下線部 (イ) の後、1293年に九州を管轄するために博多に設置され、北条氏一門が派遣された統治機関及び長官の呼称は何か。その名称を書きなさい。

## II. 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

江戸時代には、米納年貢制という条件の下で、地方と中央の都市を結ぶ全国的な流通網が形成された。百姓の田畑や屋敷地の〔(41) 〔(42)〕を基準としてかけられる本年貢は〔(43) 〔(44)〕ともよばれ、年貢は個々の百姓ではなく名主などが責任者となって納める（ a ）という制度が採られていた。年貢率を決める方法にはその年の収穫量に応じて決める〔(45) 〔(46)〕と一定年数同じ比率とする〔(47) 〔(48)〕があったが、18世紀に後者が広く取り入れられるようになった。幕府は百姓の経営を安定させて年貢を確実に徴収するために1643年に〔(49) 〔(50)〕を、1673年には〔(51) 〔(52)〕をそれぞれ発布した。

地方の天領や各藩で徴収された年貢米は各地の特産物とともに主に大坂や江戸の蔵屋敷に送られ、〔(53) 〔(54)〕によって保管・販売された。とくに大坂は「天下の台所」として全国の物資が集まり、堂島の米市場の相場は〔(55) 〔(56)〕の時に公認され全国の米価を左右した。幕府や各藩では、家臣たちに領地を与える〔(57) 〔(58)〕制が徐々に廃止されて（ b ）制へ移行したため、家臣たちは城下町に居住した。（ b ）として米を受け取った家臣はそれを商人を通じて換金して生活物資の購入に充てた。これらの商人のうち旗本・御家人の米の換金を請け負った商人は〔(59) 〔(60)〕とよばれた。

地方から大坂、江戸への大量の年貢米や諸産物の搬送は、交通の発達によって可能となった。陸上交通では江戸を起点とする五街道と山陽道、北国街道などの（ c ）が整備された。海上交通では、幕府の命を受けた〔(61) 〔(62)〕が津軽海峡を通る〔(63) 〔(64)〕と下関を経由する〔(65) 〔(66)〕を整備した。大坂と江戸を結ぶ〔(67) 〔(68)〕では、大型の〔(69) 〔(70)〕によって木綿、油、酒などが大坂から大消費地である江戸へ廻送された。

幕府が全国に通用する貨幣を安定的に供給したことも、経済活動を促進する要因になった。17世紀の前半から〔(71) 〔(72)〕金銀や庶民通貨として〔(73) 〔(74)〕通宝が鑄造された。

こうして江戸時代前半には、地方から大坂、江戸に年貢や諸産物が集まり、また大坂から江戸に大量の物資が廻送されるという流通構造が成立した。しかし、江戸時代後半になるとこの構造に変化が生じた。

地方において、畿内の進んだ農法や技術が伝播することによって農業や手工業が発達し、特に関東では野田や銚子の醤油などの〔(75) 〔(76)〕といわれる江戸向けの商品が生産されるようになった。海運業では、蝦夷地の物産を廻送する北前船や尾張を拠点とする（ d ）などが登場したが、これらは自らが地方で買い入れた物産を大坂や江戸以外の港でも売却して利益を上げていた。この結果、大坂を集荷の拠点とする従来の流通構造が崩れて、大坂を経由しない地方間の交易が活発になった。

大坂への物資の流入の減少は、物価騰貴の原因にもなった。これに対して物価騰貴の主因を別のところに見た幕府は、1841年に次のような命令を発した。

〔(69) 〔(70)〕積問屋、〔(77) 〔(78)〕問屋共、其方共儀是迄年々金壹万貳百両〔(79) 〔(80)〕上納致し来たり候<sup>ところ</sup>処、問屋共<sup>(ア)</sup>不正の趣に相聞候<sup>あいまこえ</sup>に付、以来上納に及ばず候<sup>もつと</sup>。尤も向後仲間株札は勿論、此<sup>このほか</sup>外共都て問屋仲間<sup>すべ</sup>并組合<sup>ならびに</sup>杯<sup>など</sup>と唱<sup>となえ</sup>候儀は、相成らず候。

しかし、この命令は物資の流通をさらに混乱させることになり、物価騰貴を抑えることはできなかった。

さらに、開港により1859年に諸外国との貿易が始まると、輸出向け産品は生産地の商人から開港場へ直接送られたため、従来の流通網はますます機能しなくなった。これに対して幕府は流通構造の維持をはかるため1860年に（ e ）を発したが、成功しなかった。

問1 文中の空欄 (41) (42) ～ (79) (80) に当てはまる最も適切な語句を下記の語群より選び、その番号を解答用紙 A（マークシート）の所定の解答欄にマークしなさい。

《語群》

- |          |          |              |          |             |
|----------|----------|--------------|----------|-------------|
| 11 一地一作人 | 12 伊能忠敬  | 13 運上        | 14 永楽    | 15 河村瑞賢     |
| 16 寛永    | 17 勘定方   | 18 下り物       | 19 蔵入地   | 20 蔵元       |
| 21 蔵物    | 22 慶安の触書 | 23 慶長        | 24 検見法   | 25 元和       |
| 26 元文    | 27 元禄    | 28 豪商        | 29 石高    | 30 五公五民     |
| 31 米     | 32 御用金   | 33 西海路       | 34 地方知行  | 35 四公六民     |
| 36 地子    | 37 地廻り物  | 38 荘園        | 39 定免法   | 40 庄屋       |
| 41 角倉了以  | 42 専売品   | 43 高掛物       | 44 田沼意次  | 45 樽廻船      |
| 46 俵物    | 47 地価    | 48 田畑永代売買禁止令 |          | 49 田畑勝手作りの禁 |
| 50 伝法船   | 51 東海路   | 52 徳川家光      | 53 徳川綱吉  | 54 徳川吉宗     |
| 55 十組    | 56 仲買    | 57 南海路       | 58 西廻り航路 | 59 二十四組     |
| 60 菱垣廻船  | 61 東廻り航路 | 62 札差        | 63 分地制限令 | 64 弁財船      |
| 65 本途物成  | 66 間宮林蔵  | 67 冥加        | 68 面積    | 69 両替商      |
| 70 綿     |          |              |          |             |

問2 文中の空欄（ a ）～（ e ）に入る最も適切な語句を解答用紙 B の所定の解答欄に漢字で書きなさい。

問3 以下の設問の解答を解答用紙 B の所定の解答欄に書きなさい。

下線部（ア）について、ここでいう不正とはどのようなことか、30字以内で書きなさい。

Ⅲ. 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

2024年にフランスのパリで33回目の夏季オリンピックが開催されたが、フランスの自由主義は近代日本の思想界に大きな影響を与えた。岩倉使節団と共にフランスに留学した土佐藩出身の中江兆民は、ルソーの『(81) (82)』を訳して日本に紹介するなど、<sup>(ア)</sup>自由民権運動の理論的指導者として活躍した。自由民権運動は、板垣退助らが民撰議院設立の建白書を左院に提出したことをきっかけに急速に盛り上がった。1874年に板垣は同郷の(83) (84)らと地方政社である(85) (86)をおこし、翌年には全国規模の愛国社を設立した。その後、1880年の愛国社第4回大会で( a )が結成され、1881年に板垣を党首とする自由党が結成された。1880年代に入ると、大蔵卿である(87) (88)による緊縮財政政策により、自由民権運動の支持者である地主や農民が生活難から政治的に急進化し、騒擾を起こすことが相次いだ。栃木県令暗殺計画が失敗したことで起こった(89) (90)事件の直後、自由党は解党した。また、埼玉県秩父地方では約3,000人の農民によって組織された(91) (92)が蜂起し、政府によって鎮圧された。

夏季オリンピックは過去に3度中止となったことがあり、いずれも戦争が影響している。1916年のベルリンオリンピックは第一次世界大戦の影響で中止された。当時、日本の第2次大隈重信内閣では、(93) (94)外務大臣の主導により、北京の(95) (96)政府に二十一カ条の要求の大部分を承認させた。次の寺内正毅内閣では、(97) (98)を中国に派遣し、段祺瑞政権に巨額の借款を与えて利権を得ようとした。経済面では、日本は連合軍に対して軍需品を、アジア市場には(99) (100)を、アメリカ市場には(101) (102)を中心に輸出し、貿易は大幅な輸出超過となった。また、海運業、造船業、<sup>(イ)</sup>鉄鋼業も大きな伸びを見せた。1918年、アメリカ大統領の(103) (104)が提唱した14か条の原則により第一次世界大戦は休戦が成立し、翌年にはパリ講和会議が開かれた。日本からは西園寺公望や(105) (106)らが全権として参加し、ヴェルサイユ条約が結ばれた。1920年には<sup>(ウ)</sup>国際連盟も設立された。

その後、1940年に東京オリンピックが開催される予定であった。しかし、(107) (108)年7月に北京郊外で盧溝橋事件が発生し、当時の(109) (110)内閣は不拡大方針をとっていたものの、軍部の圧力により日中戦争へと発展した。日中戦争が泥沼化する中で、日本でのオリンピック開催は困難となり、ついに返上され、幻のオリンピックとなった。また、戦争に伴う軍事費の急増により相次ぐ増税が行われたが、膨大な歳出をまかなえずに多額の公債が発行され、(111) (112)が進行した。さらに、国家総動員法が制定され、これに基づく(113) (114)により、国民は強制的に重要産業に就労させられることとなった。また、国家総動員法に基づく価格等統制令により(115) (116)が設定され、厳しい物価統制が実施された。

日本の返上により代替開催が予定されていた1940年のヘルシンキオリンピックと、その次に予定されていた1944年のロンドンオリンピックは、いずれも第二次世界大戦の影響で中止となった。アメリカによる日米通商航海条約の破棄により経済圧迫が強まった日本は、軍需資材の入手が困難となった。そのため、日本、満州、中国のみならず、東南アジアに進出して(117) (118)を建設し、戦略物資を確保しようとした。日独伊三国同盟の締結後、日米戦争を回避するために駐米大使の(119) (120)と米国务長官ハルトの間で交渉が行われた。しかし、1941年11月26日にアメリカから最後通告ともいえるハル＝ノートが提示され、交渉成立は絶望的となり、同年12月8日に太平洋戦争が始まった。当初は日本軍の勝利が伝えられていたが、1942年6月の(121) (122)で主力空母4隻が撃沈され、戦局は大きく転換した。その後、1945年8月

14日にポツダム宣言の受諾が決定され、15日に玉音放送を通じて国民に知らされた。そして、同年9月2日に(エ)降伏文書への調印が行われ、太平洋戦争は終結した。

1964年にアジアで初めてのオリンピックが東京で開催された。1960年から池田勇人内閣は所得倍増計画を掲げ、高度経済成長が実現した。経済が着実に発展する中、科学技術も大きく進展し、1965年には朝永振一郎が、1973年には( b )がノーベル物理学賞を受賞した。

平和の祭典ともよばれるオリンピック。オリンピックの基本理念に基づき、今後も平和のうちに開催されることを望むばかりである。

問1 文中の空欄 (81) (82) ～ (121) (122) に当てはまる最も適切な語句を下記の語群より選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。

《語群》

- |              |          |           |             |           |
|--------------|----------|-----------|-------------|-----------|
| 11 1935      | 12 1936  | 13 1937   | 14 1938     | 15 1939   |
| 16 伊藤博文      | 17 犬養毅   | 18 井上馨    | 19 インフレーション |           |
| 20 ウィルソン     | 21 袁世凱   | 22 円ブロック  | 23 大阪       | 24 片岡健吉   |
| 25 桂太郎       | 26 加藤高明  | 27 加藤弘之   | 28 加波山      | 29 生糸     |
| 30 黒田清隆      | 31 憲政会   | 32 公定価格   | 33 公定歩合     | 34 国民皆兵制  |
| 35 国民精神総動員運動 |          | 36 国民徴用令  | 37 五代友厚     | 38 後藤新平   |
| 39 近衛文麿      | 40 困民党   | 41 西国立志編  | 42 斎藤隆夫     | 43 社会契約論  |
| 44 社会進化論     | 45 自助社   | 46 自由之理   | 47 重要産業団体令  | 48 蔣介石    |
| 49 食料品       | 50 真珠湾攻撃 | 51 石油     | 52 セメント     | 53 大東亜共栄圏 |
| 54 高田        | 55 張作霖   | 56 帝国党    | 57 デフレーション  | 58 寺島宗則   |
| 59 陶磁器       | 60 トルーマン | 61 ニクソン   | 62 西原亀三     | 63 西村茂樹   |
| 64 日本海海戦     | 65 野口遵   | 66 野村吉三郎  | 67 平沼騏一郎    | 68 広田弘毅   |
| 69 牧野伸顕      | 70 松岡洋右  | 71 松方正義   | 72 マリアナ沖海戦  |           |
| 73 ミッドウェー海戦  |          | 74 綿織物    | 75 吉田茂      | 76 米内光政   |
| 77 立憲改進黨     | 78 立志社   | 79 ルーズベルト | 80 労働農民党    |           |

問2 文中の空欄 ( a ) ～ ( b ) に入る最も適切な語句を解答用紙 B の所定の解答欄に漢字で書きなさい。

問3 以下の設問の解答を解答用紙 B の所定の解答欄に書きなさい。

- (1) 下線部 (ア) について、この運動の理論的支柱ともなった「人間は生まれながらにして自由平等で、幸福を求める権利がある」という考えを何というか、漢字で書きなさい。
- (2) 下線部 (イ) について、南満州鉄道株式会社 (満鉄) によって1918年に満州に設立された製鉄所名を漢字で書きなさい。
- (3) 下線部 (ウ) について、国際連盟の初代事務局次長となった日本人の名前を漢字で書きなさい。
- (4) 下線部 (エ) について、降伏文書への調印が行われたアメリカ軍艦名を書きなさい。

《以下余白》